



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月5日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 3344

URL <http://www.wonder.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 正明 (TEL) 029-853-1313

四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	53,290	△2.1	75	—	195	—	5	—
29年2月期第3四半期	54,452	△4.2	△541	—	△374	—	△669	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 89百万円(—%) 29年2月期第3四半期 △608百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	0.92	—
29年2月期第3四半期	△120.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	37,384	10,087	25.8
29年2月期	35,643	10,055	27.0

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 9,635百万円 29年2月期 9,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年2月期	—	0.00	—		
30年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	72,500	△2.3	300	—	380	—	0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	5,579,184株	29年2月期	5,579,184株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	2,241株	29年2月期	1,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	5,577,214株	29年2月期3Q	5,578,257株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、依然として個人消費は力強さに欠け、また米国の政策運営や近隣諸国の地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、WonderG00事業におきましては、新型ゲーム機や大型タイトルの発売によりゲーム部門の販売が好調に推移し、同事業の収益を牽引する結果となりました。一方で音楽ソフトや書籍、中古トレカなどエンタメ部門の売上縮小傾向を受けて、各業務改善プロジェクトのうち経費削減につながるものやQSC改善などの取り組みを進めてまいりました。今後も各店の収益力の向上を図るべく様々なアクションを遂行してまいります。

新星堂事業におきましては、一部の大型アーティストによる音楽・映像ソフトの販売が寄与したものの、第2四半期以降におけるリリースタイトルの不足により、厳しい結果となりました。一方で音楽イベントや人気アーティスト関連の委託販売などを請負い、店舗や商業施設等を利用したイベント事業を拡大いたしました。今後も音楽映像に関わらずあらゆるライフスタイルを積極的に提案し続けてまいります。

WonderREX事業におきましては、11月に新規出店した「WonderREXベイフロント蘇我店」など今期の店舗施策が好調に推移し、収益改善に寄与いたしました。今後継続的に事業を成長させるため、社内人材育成を目的としたREX大学を組織化し、商品査定や接客訓練などを行うことで人材の育成と確保を実施してまいりました。さらに、従来の店舗買取だけでなく、Web買取や出張買取を強化し、事業拡大に必要な在庫買取の取組みに注力いたしました。

TSUTAYA事業におきましては、主力である映像・音楽レンタル部門が、スマートフォン・タブレットの普及によるインターネット動画配信サービスの台頭により厳しい状況が続いております。これに対し、独自で展開している有料会員サービスの拡充を図り、安定的な収益確保を進めてまいりました。

また新規事業として、今期よりフィットネス事業に参入し、11月に「TetraFit水戸笠原店」及び「TetraFit成田店」を出店したことで直営店舗が3店舗となりました。これまで当社が提供してきたエンターテインメントのノウハウを活かし、独自のプログラムにより短時間で効果的にトレーニングできるサービスを提供しております。さらに、連結子会社(株)Vidawayにおいては、11月に台湾の人気ファブリックブランドショップである「in Bloom-印花染-」を台東区蔵前に新規出店しております。

当社グループにおける当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、WonderG00事業80店舗（内、F C 8店舗）、WonderREX事業25店舗（内、F C 2店舗）、TSUTAYA事業92店舗、新星堂事業105店舗、合計302店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は53,290百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益75百万円（前年同期は541百万円の営業損失）、経常利益195百万円（前年同期は374百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円（前年同期は669百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、23,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,262百万円増加いたしました。これは主に、未収入金が155百万円減少したものの、現金及び預金が1,589百万円、商品が532百万円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、13,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ520百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が35百万円増加したものの、有形固定資産が405百万円、投資その他の資産が150百万円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、20,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が361百万円減少したものの、買掛金が2,185百

万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円と、剰余金の配当55百万円の支払い、非支配株主持分31百万円の増加によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月7日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,572,292	5,162,219
売掛金	1,217,465	1,599,216
商品	14,591,793	15,123,973
貯蔵品	18,813	18,781
未収入金	673,909	518,391
繰延税金資産	323,160	324,758
その他	911,910	826,229
貸倒引当金	△4,832	△6,970
流動資産合計	21,304,513	23,566,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,224,817	4,107,231
その他(純額)	3,462,750	3,174,953
有形固定資産合計	7,687,567	7,282,185
無形固定資産		
のれん	281,499	212,994
その他	347,684	451,257
無形固定資産合計	629,184	664,251
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,356,132	5,264,183
その他	755,520	694,890
貸倒引当金	△89,914	△87,987
投資その他の資産合計	6,021,738	5,871,085
固定資産合計	14,338,490	13,817,522
資産合計	35,643,004	37,384,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,199,914	6,385,653
短期借入金	8,600,000	8,606,000
1年内返済予定の長期借入金	1,967,679	1,605,758
未払法人税等	184,058	201,579
賞与引当金	165,998	288,500
ポイント引当金	533,872	412,372
その他	2,467,323	2,566,601
流動負債合計	18,118,847	20,066,464
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	3,623,943	3,411,989
退職給付に係る負債	583,777	545,520
長期預り保証金	466,472	448,777
資産除去債務	831,663	829,051
繰延税金負債	1,125	407
その他	1,962,138	1,694,048
固定負債合計	7,469,120	7,229,796
負債合計	25,587,967	27,296,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,472,235	2,472,235
利益剰余金	4,794,457	4,743,825
自己株式	△1,367	△1,928
株主資本合計	9,624,226	9,573,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	668
退職給付に係る調整累計額	9,588	62,187
その他の包括利益累計額合計	10,267	62,856
非支配株主持分	420,542	451,972
純資産合計	10,055,036	10,087,861
負債純資産合計	35,643,004	37,384,122

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	54,452,049	53,290,876
売上原価	35,873,758	35,174,726
売上総利益	18,578,290	18,116,149
販売費及び一般管理費	19,119,998	18,040,609
営業利益又は営業損失(△)	△541,707	75,539
営業外収益		
受取利息	26,279	23,402
受取手数料	163,714	137,918
その他	98,871	72,654
営業外収益合計	288,865	233,975
営業外費用		
支払利息	111,588	103,186
その他	10,154	10,597
営業外費用合計	121,743	113,783
経常利益又は経常損失(△)	△374,585	195,731
特別利益		
固定資産売却益	2,556	—
特別利益合計	2,556	—
特別損失		
固定資産売却損	135	—
固定資産除却損	10,056	3,027
減損損失	12,969	8,860
特別損失合計	23,161	11,888
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△395,189	183,843
法人税、住民税及び事業税	203,103	130,911
法人税等調整額	24,200	16,319
法人税等合計	227,303	147,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△622,493	36,612
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,948	31,469
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△669,441	5,143



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△622,493	36,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	△108
退職給付に係る調整額	13,326	52,599
その他の包括利益合計	13,541	52,490
四半期包括利益	△608,952	89,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△655,880	57,673
非支配株主に係る四半期包括利益	46,928	31,429

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。